

2026年8月期 国内事業 月次売上速報
(2025年9月1日～2026年8月31日)

2026/8/10
フェスタリアホールディングス株式会社

■売上高推移

(単位：％)

		前 期 比														
		9月	10月	11月	12月	1月	2月	上期計	3月	4月	5月	6月	7月	8月	下期計	合計
全店（※1）	売 上 高	94.8	111.7	102.9	105.4	115.3	107.4	106.1	122.9	121.9	118.3	100.0	113.6		115.3	109.8
	客 数	89.9	97.7	99.8	95.1	101.6	100.2	97.2	105.6	109.4	109.8	97.5	103.1		105.1	100.3
	客 単 価	105.5	114.3	103.1	110.8	113.5	107.2	109.1	116.4	111.4	107.7	102.5	110.2		109.7	109.5
既存店（※2）	売 上 高	94.6	110.8	101.9	104.9	112.8	107.6	104.8	120.0	118.6	118.6	97.8	108.3		112.7	107.4
	客 数	90.0	95.3	97.1	92.9	99.5	98.3	94.9	100.6	107.3	103.2	92.1	98.6		100.4	96.5
	客 単 価	105.1	116.3	105.0	112.9	113.4	109.4	110.4	119.3	110.6	114.9	106.2	109.9		112.3	111.3

（※1）全店：国内直営店＋EC＋富裕層ビジネス
（※2）既存店：前期期首から期末まで通年で稼働した国内直営店

■月次動向（7月度）

【販売情報】
・7月の既存店売上高は、高額帯のファッションジュエリーが大きく伸長したほか、主力商品「Wish upon a star®」のエントリーモデルも好調に推移し、前年を上回りました。
また、催事売上が大きく拡大したことにより客単価が上昇し、増収に寄与しました。
・EC売上は、自社ECサイトが前年並みで推移した一方、他社モールでの販売が伸長したことから、前年を上回りました。
・富裕層ビジネスは、百貨店催事への参画や外商との連携強化を通じて、希少性の高い商材の販売が堅調に推移し、大幅な増収となりました。
【名簿数の状況】
・7月末時点の登録名簿数は44.7万人となり、前期末（8月末）の38.8万人から5.9万人増加し、前期末比15.2％の増加となりました。

◆店舗数推移

		9月	10月	11月	12月	1月	2月	上期平均稼働店舗数	3月	4月	5月	6月	7月	8月	下期平均稼働店舗数	通期平均稼働店舗数
国内直営店舗数	当期	76	75	76	76	75	75	76	75	78	78	78	78		77	76
	前期	77	77	77	77	77	75	77	75	75	75	75	75	75	75	76

◆出退店・改装情報（7月度）

7月度における出店、退店および店舗改装はありません。
なお、熊本地震の影響により、7月末時点で3店舗が臨時休業しておりましたが、8月3日にアミュプラザくまもと店、8月5日にゆめタウン光の森店の2店舗が営業を再開しております。
イオンモール熊本店については、施設の被害状況等を踏まえ、現時点で営業再開の見通しは立っておらず、今後の対応について関係各所と協議を進めております。